

令和3年11月熊野市議会定例会

# 熊野市長市政報告

令和3年11月29日

## 令和3年11月熊野市議会定例会市政報告

おはようございます。本日、令和3年11月熊野市議会定例会を招集させていただきましたところ、議員の皆さまには、お忙しいなか出席をいただき、ありがとうございます。

それでは定例会の開会にあたり、市民生活や経済などに大きな影響を与えている新型コロナウイルス感染症について、その現状と今後のワクチン接種、支援策の進捗状況等について、ご説明いたします。

直近の感染症の情勢ですが、10月の初めごろから、感染状況に落ち着きが見られるようになりました。しかし、海外では依然として猛威を振るっており、国内でも第6波と言われる感染の再拡大が懸念され、油断できる状況ではないと考えております。市民の皆さんにおかれましては、大変かと思いますが、これまで繰り返しお願いしてきたマスクの適正な着用、身体距離の確保、定期的な換気、手洗いを行うなど、一人ひとりができる基本的な感染症対策をお願いいたします。

ワクチン接種の状況ですが、医療関係者の皆様の協力のもと、全人口中約8割の方が2回目接種を完了しております。未接種の方で接種を希望される方は熊野市新型コロナワクチン相談・予約コールセンターまでお早めにご連絡いただきたいと思います。

ワクチンの3回目接種については、2回目接種完了から原則8か月以上の間隔をおいて接種をいたします。接種の開始時期については医療従事者が12月以降、高齢者施設入所者・介護従事者が令和4年1月中旬以降、高齢者が2月以降となります。市民の皆さんには再びご苦勞をお掛けすることになりますが、ご自身の健康のため、或いは社会全体のため、接種にご協力をお願いいたします。

市内の経済への影響については、市による10月末の状況についての聞き取り調査では、水産業・商業において業績が悪化したと回答した割合は52%となっております。前回8月の調査時は63%でしたので、改善がみられるものの、市内の経済状況は依然として厳しいと考えられます。また、10月の集客施設への影響についても、改善が見られるものの、一昨年10月と比較しますと、入込客数や売上が減少している施設も見られます。

これまで議決いただいた支援策の主な進捗状況ですが、5月から7月にかけて販売を行った生活者・事業者応援プレミアム商品券事業については、発行総額約3億3千万円のうち、11月21日現在約9割換金されております。また、10月に市民1人当たり15,000円分を支給した商品券事業については、支給総額約2億4千万円のうち、換金率は約2割となっております。特産品支援の「絆メニュー」事業については、登録産品11産品で、25店舗の飲食店の方々に参加していただいております。事業者向けに新たに開始し

た「C o 2センサーの貸出」については、11月21日現在33件の貸出を行っております。

今後についても、引き続き市民の皆さんの生活状況や事業者の皆さんの運営状況等の把握に努め、市内の社会経済の実情に即した機動的な対応策を実行してまいりたいと考えております。

以上、新型コロナウイルス感染症の現状と支援策の進捗状況、今後のワクチン接種等についてご報告いたしました。

なお、今定例会におきましては、議案8件を提出いたしております。

よろしく、ご審議を賜りますようお願い申し上げ、開会にあたりましての市政報告といたします。